

平成 24 年 度

八代市議会経済企業委員会記録

審査・調査案件

1. 所管事務調査 …………… 1
-

平成 24 年 5 月 24 日 (木曜日)

経済企業委員会会議録

平成24年5月24日 木曜日

午前 9時00分開議

午前11時50分開議（実時間 22分）

○本日の会議に付した案件

1. 所管事務調査

- ・産業・経済の振興に関する諸問題の調査
（イグサ変色被害について（管内調査））

○本日の会議に出席した者

委員長	百田	隆君
副委員長	前川	祥子君
委員	太田	広則君
委員	田中	茂君
委員	古嶋	津義君
委員	村上	光則君
委員	山本	幸廣君
委員	幸村	香代子君

※欠席委員 君

○委員外議員出席者中発言の許可を得た者 君

○説明員等委員（議）員外出席者

農林水産部長	橋口	尚登君
農業生産流通課長	橋永	高德君

○記録担当書記 増田智郁君

（午前9時00分 開会）

○委員長（百田 隆君） それでは、定足数に達しておりますので、ただいまから経済企業委員会を開会いたします。

◎所管事務調査

- ・産業・経済の振興に関する諸問題の調査
（イグサ変色被害について（管内調査））

○委員長（百田 隆君） 本日は、当委員会の所管事務であります産業・経済の振興に関する諸問題の調査としてイグサ変色被害についての管内調査を行います。

それでは、本日の日程は、皆様のお手元に配付してありますレジュメのとおりですが、執行部から管内調査に伴う日程の説明をお願いしたいと思います。

○農林水産部長（橋口尚登君） 委員長。

○委員長（百田 隆君） 橋口農林水産部長。

○農林水産部長（橋口尚登君） はい。おはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）本日は、ただいま委員長のほうより御案内がありましたとおり、イグサ変色の被害調査を予定いたしております。

調査日程につきましては、橋永農業生産流通課長より説明いたしますので、よろしく願いいたします。

○農業生産流通課長（橋永高德君） 委員長。

○委員長（百田 隆君） 橋永農業生産流通課長。

○農業生産流通課長（橋永高德君） おはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）4月の異動で農業生産流通課の課長になりました橋永高德と申します。よろしく願いいたします。座ってから説明をさせていただきます。

お手元の資料の1ページをおあけください。

本日は、イグサ変色被害調査ということで、現地を回るということで計画をしております。5月11日に熊日新聞で報道がありまして、イグサ変色ということで皆さんも御存知と思いますが、5月に入りまして、イグサのちょっと異常があるということで、農協のほうも察知されたということで、それから今、調査されております。きょうは、現地を中心に見てまいりますけど、まず、これから9時15分に市役所を出発いたしまして、9時

半にJA 中央営農センターに行きます。そこで、JAのほうから今の被害状況の現状把握とそれを説明していただきたいという計画をしております。JAのほうとしても、現在、農家の方からいろいろ状況を聞きながら調査をしているということで、今まだ、調査中という段階であります。

それから、現場としまして、昭和日進町の周辺圃場、その後、千丁大牟田周辺圃場を回ります。ここは、現場においての調査になると思います。

その後、鏡支所で一たん休憩しまして、鏡有佐周辺と千丁吉王丸周辺を回りまして、大体、11時半には、ここに戻りまして、また、委員会の再開というふうに日程を見込んでおります。

次のページをお願いします。

今、申し上げました日程を地図に記載して、大体概略でこういうコースで回りたいということで、まず、市役所を出発しまして、農免のほうに行きまして、JA中央営農センターに行きます。今回、JAのほうは、南部、中央、北部と営農センターあるんですけども、一番中央のほうが、面積的にも多いということでありましたので、中央の営農センターを中心に回るコースをつくっております。

営農センターで説明を受けまして、昭和日進町で緑の丸で囲んでありますが、ここあたりの周辺のところで、まず現地視察をします。

そして、その次の千丁周辺、ここで圃場の調査をします。圃場ごとに被害がはっきり分かるような状況でありますので、ここに行って現場を見ていただくと状況わかると思います。

後、状況次第ですが、現場での説明とか、あれが長くなると、後、鏡支所から先の分で時間調整をしまして、コースを時間が足りないときは、変えるかもしれません。時間的には、11時半に市役所に帰るといようなコースで設定をしたいと思っております。

以上でございます。

○委員長（百田 隆君） ただいまの説明について、何か質疑はありませんか。

○委員（山本幸廣君） はい。

○委員長（百田 隆君） 山本委員。

○委員（山本幸廣君） 日程について、いま説明があったわけではありますが、11時半に予定はしてるんですけども、そのオーバーするということも考えておってください。現地に行ってから状況ですからね。

以上です。

○委員長（百田 隆君） それでは、ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（百田 隆君） ないようでしたら、以上で質疑を終了します。

それでは、管内調査のため、しばらく休憩いたします。

（午前 9時05分 休憩）

（午前11時33分 開議）

○委員長（百田 隆君） それでは、休憩前に引き続き、経済企業委員会を再開いたします。

ただいま視察してまいりました管内調査について、質疑、御意見等はありませんか。

○委員（山本幸廣君） 委員長、よろしいですか。

○委員長（百田 隆君） 山本委員。

○委員（山本幸廣君） 執行部の方、大変御迷惑おかけして、ありがとうございました。心から感謝申し上げます。現地を視察する中でですね、農家の方々の心痛をですね、考えたときに今まで私もイグサつくっておりましたけれども、今までの何十年の中で初めてでしょうね。あの被害状況見たときですね。そういう中で、JAはJAとして団体としては、因果関係等々をですね、と同時に対策本部とそれから、これ今後の対策等を考えておるその状況の報告がありました。行政としてですね、常に団体と前向きな中で、今後の対応についても積極的に信頼される、我々も議会としての信頼される議会としてですね、生産者の声をですね繁栄をして、お手伝いをしていきたいと思いま

すけれども……きょう、本当に生産者の方々です
すね、思いというのをです素直に受けとめて、
これからひとつ頑張っていくけないけんという、
そういうふうな思いできょうは帰ってきました。
ぜひとも委員長、副委員長、きょうの管内調査、
本当にリーダーシップをとっていただいて、農家
の方々もJA等についてもです、圧力じゃあり
ませんが、大変信頼されたんじゃないかなと
、気持ちもつかれたんじゃないかなと思
います。行政の指導等もよろしくお願
いしたいと思
います。

○委員長（百田 隆君） ほかにありませんか。

○委員（村上光則君） はい。

○委員長（百田 隆君） 村上委員。

○委員（村上光則君） 同じような意見ですが、
きょう、いろいろ（聴取不能）聞いてまいりま
して、やはりこれからどうするかということ
を一番生産者に対してはです、心配だ
ろと思
いますが、やっぱり、きょうしっかりと協
議をして農協さんが協議を
すると、その生産者に対して補償問題
をちゃんとするというような話
でありましたので、それを
しっかりとしてもらって、私
たちは私たちが行政
です、今、山本委員さんが言
われましたように、これは本
当に死活問題でございます
ので、しっかりとひとつ協
議をして、生産者に対して
です手助けをしていきたく
いというふうに思
っております。どうぞ、ひとつ
よろしくお願
いを申し上げ
ておきます。

○委員長（百田 隆君） ほかにありませんか。

○委員（太田広則君） はい。

○委員長（百田 隆君） 太田委員。

○委員（太田広則君） 関連して
るんですけれども、先ほど
現地視察行きまして、は
っきりです、生産者の
声を聞いたときに、その
新薬による影響が
です、素人の目でも
分かるような状況
の中でです、今後、
行政とすれば、ど
んな対応……早期
に刈って、燃や
してというよう
な話もあり
ましたし、一部
では、どう
にかして

すね、肥料を入れて伸びてくれればという
ような声もあり
ましたけれども、今後
どういった形で
市としては対応
していくか
れるのか。それ
から、もう1
点、再発防止策
です、もう来年
は、同じこと
を繰り返さない
ためのです、
新薬テストは
されたという
ことは聞いて
おりますけれど
も、再発防止
策をどうする
のかと、この
年末は、また
新たなあれ
でしょ。イ割
りとか始まる
前のあれが
つくるわけ
でしょ、そう
したときに、
どういった
再発防止策、
同じことを
繰り返さない
……いい教
訓だろとい
うふうに思
うんです、
ですからその
辺も含めて
行政とすれば、
どういうふう
な今後のちょ
っと教えと
っていただけ
ればと思
います。

○農林水産部長（橋口尚登君） はい。

○委員長（百田 隆君） 橋口農林水産部長。

○農林水産部長（橋口尚登君） 現在の
ことにつ
きましては、
きょういろ
いろお話を
聞かれたと
思
うんですが、
JAを中心
としてです、
県、市、氷
川町等も入
りまして、
対策本部
の中で全
体的なこ
とは、話
進められ
ていくと
思
います。今
の時点で
です、行政
として
対応とし
て考えら
れるのは、
生産農家
の方が、
このまま
イグサの
生育を進
めるのか、
あるいは
刈りと
つて後の
作をつ
くるか
とい
うこと
になる
と思
うん
ですが、
現在の
作をや
めら
れる
場合
につ
きま
しては、
戸別
所得
補償
のほう
です、
対応
が一部
可能
では
ない
かと思
って
お
り
ます。
ほか
の作
物に
転換
され
る
場合、
そう
いう
所
得
補償
が
受
け
られ
ます
ので、
それ
らの
対応。
ただ
これ
につ
きま
しては、
6月
30日
が、一
応受
け付
けの
期
限
とな
って
お
り
ます
ので、
その
辺り
につ
いて
は
です
ね、
先
ほど
の
対
策
本
部
の中
でも
いろ
いろ
協
議
し
な
が
ら
対
応
を
考
え
て
い
き
たい
と思
っ
て
お
り
ま
す。
それ
と、
イ
グ
サ
を
収
穫
さ
れ
て、
今
後
いろ
いろ
資
金
が
必
要
な
ら
ん
と思
っ
て
お
り
ま
す。
その
辺
り
の
資
金
の
対
応
です
ね、
その
辺
り
につ
いて
も
必
要
に
応
じ
て
こ
ち
ら
で
対
応
し
て
い
き
たい
と思
っ
て
お
り
ま
す。

それと来年度以降の作付
なんですが、影響が
残ることも可能性として
考えられますので、ほかの

農家の方の田んぼを借りられて、作付される場合につきましては、現在、農地利用集積促進事業ということでですね、借りられた田んぼの1ヘクタール当たり2万円とか、いろいろ補助事業を実施中ですので、その辺りの拡大も含めてですね検討していきたいというふうに考えております。

再発防止につきましては、きょうちょっと話中でありましたが、今後、新薬についてはですね、現地試験等が行われてやられると思うんですが、今回については、やられていてもちょっと発生したという事例がっておりますので、うちのほうからもJAのほうに対しても、そういう現地試験あたりをですね、やはりもうちょっと確実にやっていただくとか、そういうことでそういう農薬等の使用については、進めていただきたいということで考えております。

以上です。よろしいでしょうか。

○委員長(百田 隆君) 今、詳しい説明がございましたけれども……。

○委員(太田広則君) はい。

○委員長(百田 隆君) 太田委員。

○委員(太田広則君) 緊急時ですのでね、先ほどの戸別所得補償が6月30日という期限があるみたいですがけれども、柔軟なね対応を生産者のですね、緊急時対応の形のいろんな制約があるかと思えますけれども、しっかり連携をとってですね、できる範囲のことをしてあげてください。要望しときます。

○委員長(百田 隆君) ほかにどうでしょうか。

○委員(山本幸廣君) 委員長。

○委員長(百田 隆君) 山本委員。

○委員(山本幸廣君) まさに部長、行政指導というのを徹底せにゃいかんと思うよな。JAだからと言って、言いなりになっちゃいかぬわけですけんね。こういう事態が起きたときにどうするかと、行政指導は今までやっておったのかと、特にこれがもし漁業補償とか何かになったときにですね、どうなのかという、例えばの話ですけど

も。たまたま、陸のイグサ農家のこういう被害が出たという状況でありましたけれども、これがもしも漁業にいろんな影響が、関係でですね出たときに行政の指導は徹底していたのかと……やっぱ、責任の問題も出てくるわけです。行政とか団体とかいろんな出荷組合等についてはですね、常日ごろからそういう行政指導、チェックをしていたらきたいなと強く要望しておきます。

○委員長(百田 隆君) ほかに、どうでしょうか。

○委員(村上光則君) はい。

○委員長(百田 隆君) 村上委員。

○委員(村上光則君) やっぱし、農協はこれを推進してですね販売してるもんですから、農協もしっかり生産者に対してはですね、補償をちゃんと考えてもらいたいというふうに思います。

それと、先ほど言われました、これは去年発売してるもんですから、その前年度にあれをしとるわけですね——テストをですね。そのテストが、あやふやだったらというふうに私は思ってるんですけど、そこあたりのやっぱし農協は、もうちょっと考えてせにゃいかぬなというふうに思います。

以上です。

○委員長(百田 隆君) ほかにありませんか。

○委員(太田広則君) 1点だけ、聞いてよいかですか。

○委員長(百田 隆君) 太田委員。

○委員(太田広則君) この大きな新聞報道されてですよ、専門家、要は、大学教授とかそういった人たちに相談に行ったとか、何か連携をとったか、また、この会議の中に入られたとかいう専門家の声というのは、何かあったんですかね……特別まだそこまでいってないんですか。

○農林水産部長(橋口尚登君) はい、委員長。

○委員長(百田 隆君) 橋口農林水産部長。

○農林水産部長(橋口尚登君) 今までの会議の中ではですね、まだ、入ってられるということは聞いておりません。

○委員（太田広則君） はい、委員長。

○委員長（百田 隆君） 太田委員。

○委員（太田広則君） 今後、やっぱりJAさんとか、生産者とか行政とかありますけれども、やはり、専門のですね大学の先生方がたくさんおられると思いますので、しっかりとしたやっぱり、先ほどもね、農協で説明があった基準値0.05ppm以下で、僕は質問しなかったんですけども、成分があったと思うんですよ。何の成分の基準値が0.05ppm以下だから云々と、結局土の中にガスが発生して、先っぽが赤くなって、焼けみたいな形になって、そのガスが、悪さをして成長を妨げているという理屈は分かるんですけども、そういった部分で、こと細かくですね、やはり専門家の声を聞きながら、土壌分析結果をですね、しつこいぐらいにデータリングしながらですね再発防止につなげていくべきじゃないかなと。当然、プロの人たちは、それをやられるんだろうと思いますけどね。そうした中で、新聞報道を見る限りではね、初めてのことでどう対策とっていかも分からない、被害の状況もまだ分からないという非常にあの新聞記事見たときにですね、不安を感じましたでしたしね、ですから、その辺でしっかりやはり分析をして、再発防止につなげていくと、先ほども言いましたけれども。そこんところもお願いしときます。

○委員（田中 茂君） はい。

○委員長（百田 隆君） 田中委員。

○委員（田中 茂君） 確かに向こうの資料で、2ページの中にもありましたんですが、箱粒剤の支所別の供給明細、それでトータルしますと6678袋ということは、約20トンぐらいですね。だから相当の量であると、その中でですね、この説明がありました関係では108ヘクタール、これが被害を受けていると。その若干の差はあるようですけれども、結局、この関係についてはですね、先ほど村上委員も言われたように、農協がJAのほうで、積極的にこれだけ20トンも供給を

されている。これは、もちろんほかの米作地帯もあると思うんですが、八代地方は其中でイグサがあるということで、そのイグサがそれだけ影響を受けたわけですから、それについては、今後ですけれどもいろんな被害対策本部等もやっていかれると思いますけれども、農業者の皆さんにですね、しっかり声を聞かれて、判断はもちろん農業者本人がいろいろJAのほうにも申し入れをされるということでもありますけれどもですね、被害等についてももしっかり対応していただきたいと。市のほうも出席されてですね、ぜひよろしくお願ひしたいと思います。

○委員（山本幸廣君） 百田委員長。

○委員長（百田 隆君） 山本委員。

○委員（山本幸廣君） 最後ですけども、部長、きょうの経済企業委員会の内容等々についてもですね、JAの担当に——組合長以下トップですけども、しっかり報告してください。そして、この委員のですね、全委員の考え方をですね、きょうはいろんな意見が出ておりますけれども、集約しながら、結論から言えばですね、組合長以下、役員さん、担当の職員も含めてですけども、今回の件は真剣に捉えてですね、先ほど来、村上委員から補償の問題、所得の補償の問題も意見が出ておりますけれども、これは今の現状では、因果関係等は明確にやっぱり分かっているわけですね。今、太田委員言われたように0.05ppmの数字もですね、これはあつてはならない数字なんですよ、大体は。これはつきり言ってから、次の裏作の作物に影響をしないかの基準であつてですね、その基準なんですよあれはですね。だから、絶対あつちやならないこと。それが出てきたというのは、そのツインターボという製品がですね、影響してるのは間違いのないわけですから、そういうことも強くですね行政指導の中で、議会の常任委員会の報告をしていただきたいし、また、行政の指導を徹底してほしいと重ねてお願いしときます。

○委員長（百田 隆君） はい。それでは部長、
ようございますか。

○農林水産部長（橋口尚登君） はい。分かりま
した。

○委員長（百田 隆君） はい。それでは、ほか
にはどうでしょうか。

○委員（前川祥子君） はい。

○委員長（百田 隆君） 前川委員。

○委員（前川祥子君） 私も皆さんの御意見と同
じことでございますけど、農家への補償を含めて
の現状のイグサの対応と、もう一つは、今後の土
壌分析を含めての対策のその研究ですね。この2
つは、やはり並行して、そしてスピーディーに行
うことが大事だと思っております。今後ともそう
いうところで、努力をよろしく願いいたします。

○委員長（百田 隆君） それでは、大体意見も
出尽くしたようでございますが、ほかにあります
か。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（百田 隆君） それでは、以上で、イ
グサ変色被害についての管内調査を終了いたした
いと思います。

そのほか、当委員会の所管事務調査について、
何かありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（百田 隆君） 以上で本日の委員会の
日程は、全部終了しました。

これをもって経済企業委員会を散会いたします。

（午前11時50分 閉会）

八代市議会委員会条例第30条第1項の規定によ
り署名する。

平成24年5月24日

経済企業委員会

委 員 長